



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 セーレン株式会社

上場取引所 東

コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 勝木 知文

TEL 0776-35-2111

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	103,864	6.7	9,971	0.5	11,965	5.5	8,719	6.8
2023年3月期第3四半期	97,340	21.5	10,025	23.2	12,665	44.2	9,359	42.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 16,290百万円 (12.4%) 2023年3月期第3四半期 18,587百万円 (105.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	162.66	139.79
2023年3月期第3四半期	174.32	149.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	183,488	119,128	64.2	2,206.26
2023年3月期	167,795	105,785	62.3	1,951.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 117,842百万円 2023年3月期 104,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		23.00		23.00	46.00
2024年3月期		23.00			
2024年3月期(予想)				23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	7.3	13,600	6.0	16,100	4.9	11,400	3.4	212.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	64,633,646 株	2023年3月期	64,633,646 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	11,220,902 株	2023年3月期	11,070,927 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	53,607,199 株	2023年3月期3Q	53,694,224 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	10
(継続企業の前提に関する注記).....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	10
(セグメント情報等).....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変わり、経済社会活動の正常化の動きが見られたものの、エネルギー及び原材料価格の高騰や急激な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,038億64百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益99億71百万円（同0.5%減）、経常利益119億65百万円（同5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益87億19百万円（同6.8%減）となり、売上高は第3四半期として過去最高となりました。

[セグメント別の業績概況]

(車輻資材事業)

国内事業は、世界的な半導体不足の緩和や前年の上海ロックダウンによるサプライチェーン混乱からの反動により回復しました。エネルギー及び原材料価格の高騰があったものの、為替の影響や業務の効率化をはじめとする経費削減活動により増収・増益となりました。

海外事業（2023年1～9月）では、半導体不足や原材料価格・輸送費の高騰が落ち着くとともに、カーシートやエアバッグの受注増加があったものの、中国における日系メーカーの販売不振の影響を大きく受けました。また、SEIREN Hungary Kft.では経費が先行していることから、増収・減益となりました。

車輻資材事業全体では、国内事業の回復がけん引し増収・増益となりました。

当事業の売上高は681億83百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益76億28百万円（同11.6%増）となりました。

(ハイファッション事業)

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。ファッションアパレルは、一部百貨店ブランドにおいてコロナ禍からの回復が見られたものの、スポーツアパレル、インナーアパレルはいずれも苦戦を強いられました。単体の売上は減少したものの、Saha Seiren Co., Ltd.においてアパレル事業の構造改善を行ったことにより、ハイファッション事業全体では減収・増益となりました。

当事業の売上高は153億28百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益8億79百万円（同32.4%増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

車載モニター用の新規商材が順調に推移したものの、モバイル端末向け商材の売上が減少しました。KBセーレン(株)においては、データセンター向けHDDワイピングクロス「ザヴィーナ」やケーブル用エンブラ繊維が伸び悩みました。その他、中国市況の悪化により繊維産業向け機械の受注が減少したこと等が影響し、エレクトロニクス事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は70億50百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益は9億28百万円（同40.6%減）となりました。

(環境・生活資材事業)

ハウジング資材関連は環境対応商材が好調に推移したものの、住宅着工戸数減少の影響を受け苦戦しました。また、住生活資材関連ではコロナ禍において一時的に需要が高まった病院・介護向け製品の売上が伸び悩みました。一方、KBセーレン(株)においてはティーバッグ向け「ベルカップル」の需要の回復がみられました。環境・生活資材事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は71億17百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は7億43百万円(同8.3%減)となりました。

(メディカル事業)

サポーター等の健康・医療資材が堅調に推移するとともに、KBセーレン(株)の海外向け逆浸透膜スパーサーの売上が増加し、増収となりました。利益面ではエネルギー及び原材料価格高騰の影響が大きく、減益となりました。

当事業の売上高は55億22百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は6億30百万円(同31.2%減)となりました。

(その他の事業)

株ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業が堅調に推移したものの、セーレン商事(株)の保険代理業が好調であった前年同期の反動減となりました。

当事業の売上高は6億62百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は3億48百万円(同12.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して156億93百万円増加の1,834億88百万円となりました。流動資産は、現金及び預金や、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して122億99百万円の増加となりました。固定資産は、設備投資や、海外子会社の財務諸表の換算レートが円安になったこと、また投資有価証券の増加により、前連結会計年度末と比較して33億93百万円増加しました。負債の部は、支払手形及び買掛金の増加等により、23億50百万円増加し、643億60百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の変動や、利益剰余金の増加などにより、全体で133億42百万円増加し、1,191億28百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は386億62百万円となり、前連結会計年度末より45億20百万円増加しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、107億21百万円の収入(前年同期は71億83百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益119億69百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、46億44百万円の支出(前年同期は54億2百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出29億48百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出26億81百万円があったことによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、44億49百万円の支出(前年同期は65億94百万円の支出)となりました。これは主に、借入金の返済による支出12億89百万円、配当金の支払による支出24億66百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界的なインフレや中国景気の減速、為替動向等、先行き不透明な要素があるものの、車輛資材事業の海外事業において受注が増加していることから、2023年11月8日に公表しました通期の業績予想を上方修正いたします。エネルギー、原材料価格および物流費の高騰の影響を受けるものの、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高となる見込みです。

2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 140,000	百万円 13,300	百万円 15,500	百万円 11,100	円 銭 206.89
今回修正予想 (B)	142,000	13,600	16,100	11,400	212.84
増減額 (B-A)	2,000	300	600	300	
増減率 (%)	1.4	2.3	3.9	2.7	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	132,364	12,831	15,345	11,023	205.43

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,782	43,109
受取手形、売掛金及び契約資産	33,075	37,481
有価証券	1,091	2,256
商品及び製品	13,618	13,481
仕掛品	4,313	4,251
原材料及び貯蔵品	7,291	7,772
その他	2,912	5,033
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	101,068	113,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,780	26,435
機械装置及び運搬具（純額）	11,718	13,334
工具、器具及び備品（純額）	489	492
土地	12,778	13,062
リース資産	36	—
建設仮勘定	6,363	2,563
有形固定資産合計	54,167	55,888
無形固定資産		
のれん	638	517
その他	2,464	3,111
無形固定資産合計	3,102	3,629
投資その他の資産		
その他	9,562	10,708
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	9,456	10,602
固定資産合計	66,726	70,120
資産合計	167,795	183,488
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,450	21,468
短期借入金	2,061	2,541
未払法人税等	1,702	1,137
賞与引当金	1,375	700
その他	7,717	8,484
流動負債合計	30,307	34,333
固定負債		
新株予約権付社債	15,240	15,172
長期借入金	8,563	6,794
役員退職慰労引当金	119	119
退職給付に係る負債	6,632	6,725
その他	1,146	1,216
固定負債合計	31,701	30,027
負債合計	62,009	64,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,807	16,876
利益剰余金	75,669	81,922
自己株式	△14,830	△15,311
株主資本合計	95,167	101,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,953	3,526
為替換算調整勘定	6,303	13,239
退職給付に係る調整累計額	84	68
その他の包括利益累計額合計	9,341	16,834
新株予約権	567	506
非支配株主持分	709	779
純資産合計	105,785	119,128
負債純資産合計	167,795	183,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	97,340	103,864
売上原価	69,953	75,002
売上総利益	27,387	28,862
販売費及び一般管理費	17,361	18,890
営業利益	10,025	9,971
営業外収益		
受取利息	231	537
受取配当金	142	164
雇用調整助成金	17	—
為替差益	2,050	872
補助金収入	148	419
その他	168	102
営業外収益合計	2,759	2,095
営業外費用		
支払利息	24	19
その他	94	82
営業外費用合計	119	101
経常利益	12,665	11,965
特別利益		
固定資産売却益	4	26
特別利益合計	4	26
特別損失		
固定資産処分損	16	22
特別損失合計	16	22
税金等調整前四半期純利益	12,653	11,969
法人税等	3,240	3,209
四半期純利益	9,413	8,759
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,359	8,719

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	9,413	8,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	302	573
為替換算調整勘定	8,884	6,972
退職給付に係る調整額	△13	△15
その他の包括利益合計	9,174	7,530
四半期包括利益	18,587	16,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,488	16,213
非支配株主に係る四半期包括利益	99	77

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,653	11,969
減価償却費	3,884	3,851
固定資産処分損益 (△は益)	12	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	96	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△664	△675
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	123	70
受取利息及び受取配当金	△374	△701
支払利息	24	19
為替差損益 (△は益)	△1,738	△1,985
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,560	△2,122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,718	1,417
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,401	2,599
未払消費税等の増減額 (△は減少)	158	△69
その他	894	△560
小計	10,193	13,808
利息及び配当金の受取額	293	629
利息の支払額	△26	9
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,277	△3,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,183	10,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,204	△2,948
有形固定資産の売却による収入	13	31
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△859	△2,681
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	150	800
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,531	193
その他	△32	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,402	△4,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,393	△1,289
自己株式の取得による支出	△832	△648
配当金の支払額	△2,306	△2,466
その他	△61	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,594	△4,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,496	2,892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,316	4,520
現金及び現金同等物の期首残高	35,451	34,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,134	38,662

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	59,619	16,228	8,224	7,253	5,352	96,679	146	96,826	—	96,826
その他の収益	—	—	—	—	—	—	514	514	—	514
外部顧客への 売上高	59,619	16,228	8,224	7,253	5,352	96,679	660	97,340	—	97,340
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	23	336	39	4	403	409	813	△813	—
計	59,619	16,251	8,560	7,293	5,357	97,083	1,070	98,154	△813	97,340
セグメント利益	6,835	664	1,564	811	916	10,792	395	11,188	△1,162	10,025

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	68,183	15,328	7,050	7,117	5,522	103,202	264	103,466	—	103,466
その他の収益	—	—	—	—	—	—	398	398	—	398
外部顧客への 売上高	68,183	15,328	7,050	7,117	5,522	103,202	662	103,864	—	103,864
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	94	94	31	8	228	463	691	△691	—
計	68,183	15,423	7,144	7,149	5,530	103,430	1,125	104,556	△691	103,864
セグメント利益	7,628	879	928	743	630	10,810	348	11,158	△1,186	9,971

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車両資材……………自動車・鉄道車両等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システム及びサブ
ライ、電子機器、シリコンウェーハの成膜加工等、人工衛星
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第3四半期連結累計期間1,198百万円、当第3四半期連結累計期間1,221百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。